

General I-95-E

ドレンクリーナ

*I - 95 - E*

取り扱い説明書

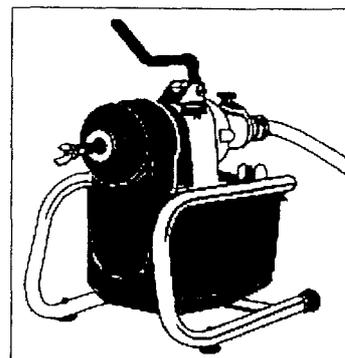


**はじめに・・・****I - 95 32mm ~ 100mm (1・1/4" ~ 4") 排水管用**

ご購入のI-95は、長期間にわたって支障無くご使用戴けるように設計されていますが、取り扱い方によっては十分な性能を発揮しません。

ご使用になる前にこの説明書をよくお読みいただいて、このI-95をより効果的に安全に操作することが必要です。

説明書にない操作や取り扱いによってはけがなどの事故や装置の故障をおこす可能性がありますのでご注意ください。

**目次**

安全に確実にご使用頂くための注意事項	2
漏電遮断機の作動確認	2
ケーブルの用途表(表1)	3
カッターの用途表(表2)	
仕様表(表3)	
本体各部の名称	4
取り扱い手順	
1 チャックのサイズ変更(ケーブルサイズの変更)	5
2 15,8(5/8")および22,2(7/8")セッションケーブルの使い方	5
3 7,9(5/16")および9,5(3/8")ケーブルの使い方	7
* 9,5(3/8")ケーブルは別売です。	
4 メンテナンス	8
5 日常の手入れ(チャックの清掃、または交換方法)	8
トラブルシューティング(表4)	9

**警告!****以後の注意事項を必ず守ってください。**

本説明書を十分に読んで理解してください。

以下に挙げている説明事項にない操作を行った場合には、感電や火災、その他の重大な事故やけがを発生させる可能性があります。

## 安全に確実にご使用いただくために

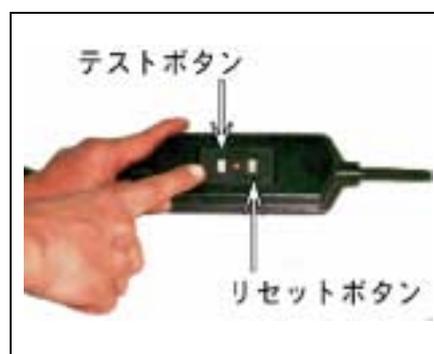
### 注意！

- R- 正しく接地されたコンセントに装置のプラグを差し込んで下さい。  
疑わしい場合は、装置のプラグを差し込む前にコンセントを確認して下さい。  
電源コードに切れや磨り減ったりした箇所がないかを必ず確認して下さい。
- 2, 装置付属の電源コードの長さが足りない場合は、破損のない3線式の重負荷用延長コード（2枚以上・10m以内）を使用して下さい。  
軽負荷用コードを使用すると電力損失が生じてモーターが過熱したり、コードが発熱し火災を発生する恐れがあります。
- 3, 作業する場所が濡れている場合は、ゴム製の長靴と手袋を着用して下さい。  
装置は、濡れた場所や水に浸かった状態での使用を絶対にしないで下さい。
- 4, この装置は一人で操作できるように設計されていますが、安全には十分注意が必要です。
- 5, 装置を操作する際は、保護めがねを着用して下さい。
- 6, ケーブルを操作する際は、必ず皮製の手袋を使用して下さい。  
布製の手袋は使用しないで下さい。布製の手袋を使用すると回転しているケーブル・コイルに巻き込まれる恐れがあります。
- 7, 腐食性のある排水管洗浄剤は、作業を開始する前に排水管から洗い流すかまたは中和して下さい。  
これらの化学薬品が身体に付着すると、けがをしたりケーブルが破損したりする恐れがあるので十分注意してください。
- 8, 作業を開始する前には、ケーブルの損傷やドラムの中にねじれて収納されていないかを確認して下さい。そのためにはケーブルをドラムから引き出して確認する必要が有ります。  
磨り減ったケーブルは、必ず純正の GENERAL 交換用ケーブルと交換して下さい。  
作業中にケーブルが弾けたり、ドレン内に取り残されたりします。
- 9, その他電氣的、機械的に無理な使用を避け、作業者の服装等も安全な状態での操作を心がけてください。

### 漏電遮断器（GFI）の作動確認

この装置には漏電遮断器が装備されており、万一短絡が発生した場合に感電を防止するようになっています。使用する前には、次の手順で必ず漏電遮断器の動作テストをして下さい。

- 100V電源のコンセントに本装置のプラグを挿入します。
- テストボタンを押して下さい。  
表示ランプが消灯して電源が切れます。
- テストが終了したらリセットボタンを押して電源を復帰させます。  
テストボタンを押しても表示ランプが消灯しない場合は、装置を適切に修理するまで使用しないで下さい。



壁のコンセントから漏電遮断器に至るまでの部分は、漏電機能を感じないのでご注意ください。

リセットボタンを押しても装置が始動しなかったり、作動していたのに停止したりする場合、あるいは作業者が軽く電気を感じる場合には、装置を使用しないですみやかに、修理センターに修理を依頼するか、工場に返却して修理して下さい。

表1 ケーブルの用途

ケーブルのサイズ	パイプのサイズ	典型的な用途	最大可能距離
7.9 mm (5/16") 小型容器	40 ~ 50 mm (1½" ~ 2")	浴槽・シャワールームの排水管 および細い排水管	7.5 m (25 ft.)
9.5 mm (3/8") 大型容器 (別売)	50 ~ 80 mm (2" ~ 3")	台所の流し・洗面台の排水管、 および比較的細い排水管	10.5 m (35 ft.)
15.8 mm (5/8") セクショナルケーブル	32 ~ 80 mm (1¼" ~ 3")	煙突および細い排水管	38 m (125 ft.)
22.2 mm (7/8") セクショナルケーブル	50 ~ 100 mm (2" ~ 4")	中規模排水管および長い配管	45 m (150 ft.)

表2 カッターの用途

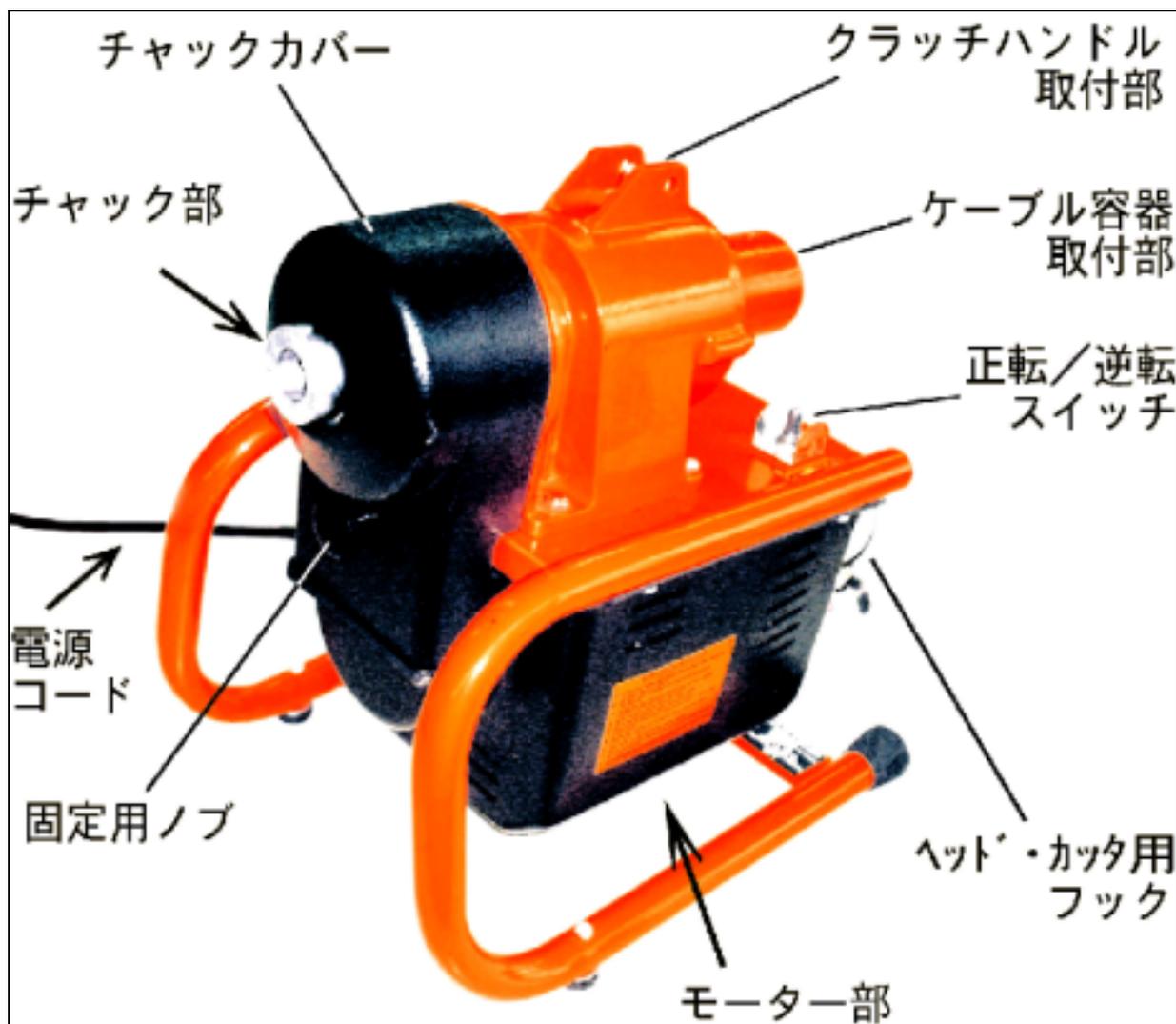
15.8mm (5/8")・ケーブル	カタログ No.	典型的な用途
アロー・ヘッド	R-AH	初期清掃用 切削および掘り出しに適しています
1½インチUカッター	R-1½UC	パイプの壁を削ります
ボーリングキリ	R-BG	はがれやすい物を除去・回収します

22.2mm (7/8")・ケーブル	カタログ No.	典型的な用途
スピア・ヘッド	R-SHD-10	初期清掃用 切削および掘り出しに適しています
2インチUカッター	R-2UC-10	パイプの壁を削ります
3インチUカッター	R-3UC-10	パイプの壁を削ります
フック・オーガー	R-HA-10	はがれやすい物を除去・回収します

表3 仕様表

項目 \ 型式 (名称)	I - 95
品番	441050
寸法 (本体) mm	410 (L) × 350 (W) × 430 (H)
本体重量 Kg	18
モーター	V / W
	100 (V) / 250 (W)
	回転数
	400 rpm
標準ケーブルサイズ	7.9 mm × 7.5 m (フックオーガーヘッド) ケーブルドラム入り 15.8 mm × 2.3 m × 6本 (セクショナルケーブル) 22.4 mm × 4.5 m × 5本 (セクショナルケーブル)
標準付属ヘッド (カッター)	15.8 mm セクショナルケーブル用 R-AH (アローヘッド)、R-BG (ボーリングギムレット) R1½UC (ユーカッター)、R-RTR-1 (コークスクリューヘッド) RCK8 カップリングキー (連結解除ピン) 22.4 mm セクショナルケーブル用 R-SHD-10 (矢じりヘッド)、R-HA-10 (フックオーガー) R-2CU-10 (2"ユーカッター)、R-3UC-10 (3"ユーカッター) R-RTR-10 (レトリバヘッド) RCK10 カップリングキー (連結解除ピン)
付属品	ケーブルキャリア小 (15.8 mm セクショナルケーブル用) ケーブルキャリア大 (22.2 mm セクショナルケーブル用)
最大キャパ	ケーブルの用途 (表1) に記載

I - 9 5 - E 各部の名称



クラッチハンドルの取り付け



付属のクラッチハンドルを本体後方の上部にあるリブにはめ込み、付属のボルトセットを穴に挿入してナットで抜け止めする。

ナットはゆるみ止め付きで、ボルトのねじがナットから2山ほど出た程度で止めておく。

ナットは決して締めすぎないこと。ハンドルが自由に動くことを確認する。

## 取り扱い手順

### 1, 作業前のチャックサイズの変更

ハウジングには、15.8 mm (5/8") ケーブル用と 22.2 mm (7/8") ケーブル用の二組のくぼみがあります。

下記手順に従って**ケーブルサイズに変更**を行って下さい。

1. 本体正面にある固定用ノブを緩めてチャック・カバーを外します。
2. クラッチハウジングには、15.8 mm ケーブル用の小さなくぼみと、22.2 mm ケーブル用の大きなくぼみがそれぞれ三つずつあります。  
オレンジのシールでコーンのくぼみの外周面に表記。
3. 三本のチャックの頭を同時に押さえ込みながら、クラッチハウジングを回して所定のくぼみにはめます。
4. チャック・カバーを元の位置にはめて固定用ノブを締めます。  
カバー裏側のワッシャを確認しておいてください。

\* ハウジングにあるビスは整備用です、  
サイズの変更時には緩める必要は有りません。

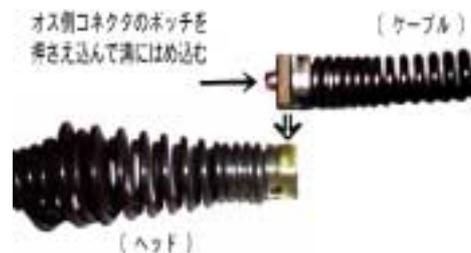


### 2, 15.8mm および22.2mm セクショナル・ケーブルの使い方

1. 装置を排水口から50センチほどのところに置きます。  
この付近に置けない場合は、ケーブルのホイッピング（むちのように急に跳ねる）を防止するために、金属製パイプ等を誘導管にしてケーブルを通して下さい。
2. 装置の後部へ、リア・ガイド・ホース (95-RGH) を取り付けます。  
装置の止め穴に合わせてガイド・ホースの上にあるノブをはめて下さい。
3. 装置の前からセクション・ケーブルを差し込みます。  
セクション・ケーブルはオス型コネクタを前にします。  
複数のケーブルを連結しないでください。



4. オス型コネクタにヘッド（カッター）を差し込みます。  
 最初は小さいカッターから作業を始めて下さい。  
 管のつまりが取れたら、より大きな刃に換えてパイプの内側を仕上げ、確実に掃除します。  
 \* カッター（ヘッド）の取り付け取り外し方。  
 オス型コネクタのパネピンが所定の位置にきてパチンと音がするまで、カッターの溝とオス型コネクタのタブをスライドさせてはめ込みます。



- 外す時は、カップリング・キー（15.8mmセクションにはRCK-8、22.2mmセクションにはRCK-10）を用いて下さい。  
 メス型コネクタの側面にある穴からカップリング・キーを押し込み（オス型コネクタのパネピンを押し込めるようにさし込み）コネクタをスライドさせて外します。  
 セクション・ケーブルの連結・取り外しも同様に行います。



5. ケーブルを排水口に挿入し、可能な限り奥まで入れておきます。  
 このとき、装置から排水口にケーブルがゆるやかな弧を描くようにしておいて下さい。



6. 電源スイッチを正転に入れてモーターを始動します。

7. 手袋（皮製）をはめた方の手でケーブルを支え、もう一方の手でチャック・ハンドルを下に押し下ろします。  
 回転したケーブルを上から押さえ込むように排水管に押し込んで下さい。



- 無理に押し込んで排水口の掃除が早くすむことはありません。ケーブルも傷めてしまう恐れがあるので均一な力で押し込んでください。  
 なお、装置と排水口間のケーブルがあまり長過ぎるとケーブルがホイッピング（むちのように急に跳ねる）したりねじれたりする可能性があります。

8. ケーブルのたるみがなくなったら、チャック・ハンドルを解放し、装置からもう30センチ程度ケーブルを引き出し、ハンドルを再び下に押しつけてケーブルを送り続けます。



9. ケーブルが終端まで来たらそれを装置からはずしてオス型の端部を先にし、別のケーブルを装置に差し込みます。  
 ケーブルの端と端をつなぎ合わせて再び送ります。

10. 詰まった部分に達したら、回転させたままケーブルを前後に動かして詰まりを除去します。
11. 障害物がなくなったら、ケーブルを回収します。  
モーターは**正転位置のまま**にして下さい。  
逆回転するときは、ケーブルが排水管などに引っかった場合だけです。
12. ケーブルを回収するには、チャック・ハンドルを押さえつけた状態で排水口のへりにケーブルを押し付けます。  
ケーブルは螺旋を利用して排水管から出て来ます。  
排水管からケーブルのコネクタが30センチ程出てきたら、チャック・ハンドルを解放してケーブルを分離し、装置から抜き取ります。

残ったケーブルを装置に差し込みセクション全体が排水管から出てくるまでこの作業を繰り返します。

**提案：**ケーブルを回収する際は・・・

排水管に水を流しながら回収すると、切削したかすが洗い流されてケーブルがきれいになります。

ケーブルは添えるように握り、巻き込まれないよう注意のこと



開口部のへりを利用してケーブルを回収する



### 3 , 7.9 mm(5/16") ケーブルおよび 9.5 mm(3/8") ケーブル (別売) の使い方

- 1 . 7.9 mmケーブルの小型容器、または9.5 mmケーブルの大型容器 (別売) をI - 95に取り付けるには、ケーブルを容器から30センチ程引き出して下さい。次に、容器を装置の後から滑り込ませ、装置本体にケーブルの先を通します。
- 2 . チャック・レバーを引き上げてバネの圧力を解放し、容器が奥まで完全にはまるようにして下さい。  
容器のノブを装置の後方にある穴に合わせて締めつけます。  
\* 9.5 mmケーブルを用いる場合は、装置に取り付け後ケーブルの先端にあるメス型コネクタの溝にカッタを差し込んで接続ネジと止めワッシャでしっかりと止めて下さい。
- 3 . その後は、セクショナル・ケーブルの使い方にある手順番号1・5・6・7・8・10・11の内容に従って操作して下さい。



**注意：**ケーブルがチャックに正しく挟まれて回転させるには、ケーブルを送り込む際にチャックのハンドルをしっかりと押し下げて下さい。

供給を止める場合はハンドルを完全に戻して下さい。

- \* ハンドルを後ろに引くとブレーキが作動して  
容器の回転が止まります。

## 4 , メンテナンス

装置の円滑な操作を維持するには、すべてのベアリングに定期的に注油しなければなりません。  
使用頻度が高い場合は、週に一度装置に注油して下さい。

定期的に使用する場合は、月に一度の注油で結構です。

チャック・アセンブリは、半年に一度は掃除してグリスを塗布することをお奨めします。

装置が砂や砂利、その他の研磨性のある物質に接触する場合は、より頻度を増やして下さい。

ケーブルを最大限に活用するため、錆止めを怠ってはいけません。

ケーブルを潤滑するだけでなく消毒も実施して下さい。

付属のドラムケーブルも清掃・消毒・注油を確実に行っておいて下さい。

## 5 , チャックを掃除または交換する方法

1. 固定用ノブを緩めてチャック・カバーを外します。
2. チャックハウジングからすり割り付き小ネジを外して下さい。サイズ表記シール中央にあり。



3. 3本のチャックの頭を同時に中央に押さえながらチャックハウジングを回してハウジングのきり欠き部を、一番近いチャックまでまわして行きます。



4. ひとつずつチャックハウジングをまわし、きり欠き部よりチャックを抜き取っていきます。



5. 組み付けは逆の手順で行い、作業が完了したら、チャックがハウジングのきり欠き部へ落ち込まないように必ずすり割り付き小ネジを取り付けて下さい。

6. チャック・カバーをかぶせ、固定用ノブで止めます。

表4. トラブルシューティング・ガイド

	問題	処置
ケーブルが ねじれている	オペレータがケーブルを無理に押し込んだ	ケーブルを無理に押し込まないで下さい。 カッターを活用（種類を変え）して下さい。
	装置と排水口の間 のケーブルが長過ぎる	チャック・ハンドルを解放して出過ぎたケーブルを装置に戻して下さい。
	ケーブルが排水管の サイズに適していない	ケーブルの直径が排水管に対して小さすぎたり大き過ぎたりすると、ねじれやすくなります。 表1. ケーブルの用途、を参照して下さい。
チャックが 滑る	チャックが 正しく調節できない	ケーブルのサイズに合った適切なチャックをセットして下さい。 「調節可能なチャック」の項を参照して下さい。
	汚れがたまっている、 または 潤滑が不足している	チャックを分解し、アセンブリを掃除して注油。 取扱説明書に従って定期的に注油して下さい。 ひどく摩耗したチャックは交換して下さい。
	ケーブルが ねじれている	ねじれたケーブルはチャックで挟むこと（駆動） ができません。 破損したセクションを交換して下さい。



## General I-95-E

## -95-E パーツリスト

図番 (メーカー品番)	部品番号	GW品名	部 品 名	数量
95-101	DCD01	Frame Only	フレーム	1
95-102	DCD02	Rubber Feet, Bolts, & Lock Washers (2)	ゴム足セット	2
95-103	DCD03	Rubber Leg Tips (2)	ゴム足先	2
95-104	DCD04	End Plugs (2)	エンドプラグ	2
95-106	DCD05	Cutter Holder	カッターホルダー	1
95-107	DCD06	Screws & Washers (2)	ネジ及びナット	2
95-110	DCD07	Motor Guard	モータガード	1
95-111	DCD08	Screws for Motor Guard (4)	モータガード用ネジ	4
95-115	DCD09	Belt Guard	ベルトガード	1
95-116	DCD10	Belt Guard Retaining Knob	ベルトガード固定ノブ	1
95-117	DCD11	Washer	ワッシャー	1
95-118	DCD12	Belt Tension Adjustment Screw	ベルト張力調整ネジ	1
95-201	DCD13	Chuck Housing	チャックハウジング	1
95-201-A	DCD14	Chuck Housing Bolts (4)	チャックハウジングボルト	4
95-202	DCD15	Rear Housing	リアハウジング	1
95-202-A	DCD16	Rear Housing Bolts (2)	リアハウジングボルト	2
95-203	DCD17	Brake Stop & Screw	ブレーキ止め及びネジ	1
95-204	DCD18	Brake Spring	ブレーキスプリング	1
95-205	DCD19	Brake Sleeve	ブレーキスリーブ	1
95-210	DCD20	Linkage (4)	リンケージ	4
95-211	DCD21	Sleeves (4)	スリーブ	4
95-212	DCD22	Button Head Cap Screw (4)	丸押さえネジ	4
95-213	DCD23	Linkage Spacewks (4)	リンケージスペーサ	4
95-215	DCD24	Yoke	ヨーク	1
95-216	DCD25	Self Locking Nuts (2)	戻り止めナット	2
95-220	DCD26	Chuck Slide	チャックスライド	1
95-224	DCD27	Threaded Collar w/Screws	スレッドカラーネジ付き	1
95-225	DCD28	Chuck Shaft	チャックシャフト	1
95-226	DCD29	Ball Bearing	ボールベアリング	4
95-230	DCD30	Chuck Body	チャック本体	1
95-230-A	DCD31	Set Screws (2)	位置決めネジ	2
95-230-C	DCD32	Jaw Locating Ring	あご位置決めリング	1
95-233	DCD33	Jaw Spring (3)	あごスプリング	3
95-234	DCD34	Chuck Jaws with Rings (3)	チャックあごリング付	3
95-235	DCD35	Thrust Bearing & Races	スラスト軸受け及びレース	1
95-240	DCD36	Chuck Cone	チャックコーン	1
95-240-A	DCD37	Limit Screw & Lock Washer	リミットネジオヨビトメワッシャ	1
95-242	DCD38	Return Spring	伸縮バネ	1

General I-95-E

図番 (メーカー品番)	部品番号	GW品名	部 品 名	数量
95-245	<b>DCD39</b>	Handle Assembly	ハンドルアッセンブリ	1
95-245-A	<b>DCD40</b>	Handle Only	ハンドル	1
95-245-B	<b>DCD41</b>	Rubber Grip	ゴムグリップ	1
95-245-D	<b>DCD42</b>	Handle Adjustment Screw	ハンドル調整ネジ	1
95-25-0	<b>DCD44</b>	Small Container (for 5/16"Cables)	小型容器	1
95-403	<b>DCD45</b>	Ball Bearing	ボールベアリング	1
95-404	<b>DCD46</b>	Mounting Collar with Knob	取り付けカラー	1
95-404-A	<b>DCD47</b>	Knob	ノブ	1
95-404-B	<b>DCD48</b>	Set Screws (3)	位置決めセットネジ	3
95-404-C	<b>DCD49</b>	Grease Fitting	グリース注入用管継手	1
95-405	<b>DCD50</b>	Flange Bearing Set (2)	フランジベアリングセット	2
95-407	<b>DCD51</b>	Fiber Washers (3)	ファイバワッシャ	3
95-408	<b>DCD52</b>	Brake Disc	ブレーキディスク	1
95-409	<b>DCD53</b>	Spacer	スペーサ	1
95-410	<b>DCD54</b>	Slotted Tube	スロット付き管	1
95-411	<b>DCD55</b>	Snap Ring	スナップリング	1
95-35-0	<b>DCD56</b>	Large Container (for 3/8"Cables)	大型容器	1
95-451	<b>DCD57</b>	Large Container Shell	大型容器シェル	1
95-451-A	<b>DCD58</b>	Container Front	正面容器	1
95-451-B	<b>DCD59</b>	Container Back	背面容器	1
95-452	<b>DCD60</b>	Spindle for Large Container	大型容器用スピンドル	1
95-456	<b>DCD61</b>	Washer (2)	ワッシャー	2
95-465	<b>DCD62</b>	Nut	ナット	1
95-600	<b>DCD63</b>	1/3hp Motor with Reverse Switch & GFI	1/3馬力モータ	1
95-601	<b>DCD64</b>	Motor Pulley	モータプーリ	1
95-602	<b>DCD65</b>	Mounting Bolts, Nuts & Washers	取り付けボルトセット	1
95-603	<b>DCD66</b>	Notched V-Belt	切り欠きVベルト	1
95-604	<b>DCD67</b>	Ground Fault Interrupter with 10 ft.Power Cord	漏電遮断器	1
95-605-A	<b>DCD68</b>	Terminal Boot	ターミナルブーツ	1
95-605-B	<b>DCD69</b>	Wire Loom	ワイヤールーム	1
95-605-C	<b>DCD70</b>	Cord Clamp and Screw	コードクランプセット	1
95-605-G	<b>DCD71</b>	Reverse Switch Only	逆転スイッチ	1
95-605-H	<b>DCD72</b>	Toggle Boot	トグルブーツ	1
95-605-J	<b>DCD73</b>	Toggle Guard	トグルガード	1
95-610	<b>DCD74</b>	Baffle	バッフル	1
95-611	<b>DCD75</b>	Baffle Nuts (2)	バッフルナット	2
95-612	<b>DCD76</b>	Baffle Spacer Washers (4)	バッフルスペーサ	4



輸入販売元 **レッキス工業株式会社**

東京支店	〒177-0032	東京都練馬区谷原5-13-30	Tel 03-5393-8011
大阪支店	〒578-0948	大阪府東大阪市菱屋東1-9-3	Tel 072-965-9811
札幌営業所	〒006-0832	北海道札幌市手稲区南2条4-3-31	Tel 011-882-3711
仙台営業所	〒984-8651	宮城県仙台市若林区卸町3-1-13	Tel 022-232-1697
東京営業所	〒177-0032	東京都練馬区谷原5-13-30	Tel 03-5393-8011
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元郷社町932-8	Tel 027-253-8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150-1	Tel 046-245-3981
名古屋営業所	〒454-0808	愛知県名古屋市中川区澄池町9-3	Tel 052-351-1551
大阪営業所	〒578-0948	大阪府東大阪市菱屋東1-9-3	Tel 072-965-9811
高松営業所	〒760-0072	香川県高松市花園町3-7-22	Tel 087-834-3982
広島営業所	〒734-0022	広島県広島市南区東雲2-15-11	Tel 082-284-8085
九州営業所	〒812-0882	福岡県福岡市博多区夏野3-18-26	Tel 092-583-1110
本社	〒542-0088	大阪府大阪市中央区西心斎橋1-4-5	
工場	〒578-0948	大阪府東大阪市菱屋東1-9-3	

**お客様相談窓口** ☎ **0120-475-476**  
受付時間：月～金・9:00～12:00 13:00～17:00

●商品の仕様は予告なく変更することがあります。

000000-J0
000000003